

# NEWS RELEASE

2016年12月5日  
株式会社 ジャパンクリエイト

憧れの技術大国日本で就業を希望する学生支援事業  
**「第二回アジア高度技術人材の活用セミナー」を開催しました**  
～ベトナム理系新卒就職支援プログラムのご案内～



日越就業能力開発プログラム  
Vietnam-Japan Program for Employment ability Development



株式会社ジャパンクリエイト（大阪市淀川区、代表取締役社長：加藤 智以下、ジャパンクリエイト）と TAMSUI VIETNAM CO.,LTD（ベトナムホーチミン市、代表取締役社長：小畑 雅史 以下、タンスイベトナム）がベトナム国家大学ホーチミン市校工科大学（以下、ホーチミン工科大学）と共同運営している「日越就業能力開発プログラム」は11月8日（東京会場）、10日（大阪会場）に「第二回アジア高度技術人材の活用セミナー ～ベトナム技術新卒の紹介～」を開催致しました。

本セミナーは今年1月に続いての開催で、今回は本プログラムのセンター長である、ホーチミン工科大学のTung(トゥン)准教授（以下、トゥン センター長）の講演に加え、本プログラムを介して実際にベトナム新卒技術者を採用していただいた日本企業の人事ご担当者様や、労働情勢に詳しい識者にパネルディスカッションに参加していただき、理系高度人材採用の最前線の動向や、現在の人材採用における課題、今後の展望とそれに対する企業の取り組みなどを討議しました。

## ◎セミナープログラム

- 第一部 基調講演 憧れの技術大国日本へ「若き新卒エンジニアたちの活用について」
- 第二部 パネルディスカッション ～日本企業におけるアジア高度技術人材活用の必要性について～
- 第三部 日越就業能力開発プログラム運営状況 ～人材マッチングまでの流れ・学生ノンネームリスト～

本リリースに関するお問い合わせ先

株式会社 ジャパンクリエイト 海外事業グループ：小林  
Tel : 045-470-7778 Fax : 045-476-4141 E-mail : [kobayashi@jc-grp.com](mailto:kobayashi@jc-grp.com)

■ **第一部**では、トゥン センター長より「憧れの技術大国日本へ～若き新卒エンジニアたちの活用について」と題して基調講演をいただきました。

ベトナムでは他国に比べ卒業前の就職内定率が低い環境にあります。これは日本の大学における就職課のような組織が大学内に存在していないことも一因と考えられ、大学として学生の就職活動を支援する仕組みが必要であるとのことでした。

ベトナムは親日国でもあり、普段の生活で電化製品などから日本の技術力に触れる機会も多く、特に理系学生は日本企業に対する憧れを強く持っており、日本での就業を希望する意欲の高い人材が多くおります。

本プログラムでは、日本での就業意欲の高い有能なベトナム人若手エンジニアの就職を支援するために、日本国内における労働市場の環境分析や企業側のニーズ、また学生の希望なども綿密に調査し、語学能力だけではなく、日本企業にマッチしたビジネスコミュニケーション能力までも含めた教育カリキュラム体制を構築していることをご紹介します。



トゥン センター長による基調講演



トゥン センター長



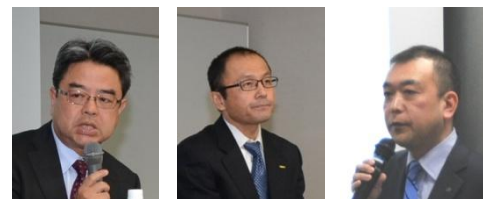
大阪会場 パネルディスカッション

■ **第二部**では、「日本企業におけるアジア高度技術人材活用の必要性について」をテーマに、ジャパンクリエイティブグループ・専務取締役の安達信也をファシリテーターとして、同プログラムからはトゥン センター長のほかトランスイベトナム・副社長の鍋倉充浩と日越就業

能力開発プログラム・日本事務局長の黒田覚、8 日の東京会場では企業ご担当者様として東京製綱・取締役人事部長の中原良様と日本電産トーソク・人事総務部長の平間文健様、10 日の大阪会場では労政ジャーナリストの大野博司様をパネリストにお迎えしております。

トゥン センター長からは第一部の講演に引き続きベトナム学生の日本企業への憧れについて、鍋倉からはベトナム人活用における就業カルチャーの違いによる注意点を中心に、黒田からは日本企業側の学生に求めるニーズ動向についてをそれぞれ議論を重ねております。

また、中原様、平間様からは現在企業として人材採用に対して取り組まれている最新の状況やそれらに対する課題、また同プログラムへの期待などを中心に。大野様からは国内の労働人口の減少状況下での日本の学生の理系離れと就業意欲の脆弱化、それと比べた際の海外人材の有能・有用性についてご説明いただきました。



左から、中原様、平間様、大野様

両日とも、それぞれ一歩も二歩も踏み込んだ情報・意見交換を展開し、会場を大いに盛り上げ議論を深めました。

■ **第三部**では、運営事務局より「人材マッチングまでの流れ・学生ノンネームリスト」と題して、ジャパンクリエイティブ・海外事業グループマネージャーの小林直樹より、本プログラムで企業と学生をマッチングするまでの具体的な流れと手続きについて説明し、その後、現在の運営状況と今後の新しい展開についての説明をしました。



本セミナーの最後に、日本企業への入社を控える第一期学生の自己紹介動画をご視聴いただき、本プログラムカリキュラムの質の高さをご確認いただきました。

今後も、定期的に企業様向けのセミナーを開催し、本プログラムの最新情報の発信と情報共有をしてまいります。

### ■ 日越就業能力開発プログラムのご紹介

株式会社ジャパンクリエイティブとタンスイベトナムでは、ベトナムトップクラスの理系大学である、ベトナム国家大学ホーチミン市校工科大学の国際プログラム機関である OISP (Office of International Study Programs) と連携し、同大学の学生を対象に「日越就業能力開発プログラム」を開講し、共同運営しております。

日越就業能力開発プログラムでは、約 2 年間にわたり日本語教育及び日本の慣習・ビジネスマナーを学ぶことができます。このプログラムを修了する学生の中から、企業様の求められる人材に合う学生をご紹介します。



### ■ ホーチミン工科大学について

ホーチミン市工科大学は、ベトナムに 3 校ある国家大学の 1 校で、11 学部合計 26,750 人の学生を要しています。

ベトナムの技術系大学の中では、研究・教育の中核と認知されており、ベトナム南部の技術系大学の中で最大規模かつ最高位に位置し、最も歴史のある大学です。



#### 学部情報

- |  |
|--|
| ①情報工学 ②化学工学 ③機械工学 ④電気・電子工学 ⑤土木工学 ⑥応用科学<br>⑦管理工学 ⑧環境科学 ⑨地質・石油工学 ⑩交通工学 ⑪材料科学 |
|--|

## ■教育コンセプト

### ①N2レベルの質の高い日本語教育

現地の学生や語学学校任せにするのではなく、ホーチミン工科大学と連携し、責任を持って教育を行っております。また、日本語については、日本語能力試験の N2 レベル取得を目指す内容のカリキュラムで、学生に教育しています。

(N2レベル：日常的な場面に加え、より幅広い場面で使われる日本語をある程度理解することが可能。)

### ②日本語のみならず、日本文化やビジネスマナーを教育

日本語だけではなく、日本で生活する上で大切な文化・慣習や、日本企業で働くうえで大切な「報告・連絡・相談」や「時間管理」、「身だしなみ」、「言葉づかい」等のビジネスマナーについても事前に教育いたします。

### ③日本企業のニーズに応え得る人材の教育

毎年定期的に採用をご検討いただける企業様については、業務で必須となる語彙や知識を効果的に教育することで企業様の要望するレベルまで日本語能力を引き上げるカリキュラム作成のご相談に応じます。

また、今後は大学の教授や企業様を講師としてお招きし、実践レベルでの専門技術の教育も行っていく予定です。